



モスクワ日本人学校

学校だより No. 4

Japanese School in Moscow

5月18日

しらかば

モスクワ日本人学校

校長 岡本 高一

修学旅行を体験的な国際理解学習に

中学部：カリニングラードへ 小学部5、6年：サンクト・ペテルブルグへ

5月19日から中学部がカリニングラードへ、5月26日からは小学部5、6年生がサンクト・ペテルブルグへ、2泊3日の修学旅行に出かけます。児童生徒にとっては学校を離れ、貴重な体験的な学習となります。修学旅行で児童生徒に身に付けさせたい力を次のように考えています。

修学旅行を通して、ロシアの文化を中心に、異なる言語、文化、価値をまずは正しく受け入れることが大切です。この学習は、異文化や歴史を正しく理解し、学年の発達段階に応じて、知識として身に付けることだと考えています。更に「なぜだろう」「もしかしたら」など自分なりの考えをもったり、友達と一緒に考えたり、考えを比較しあったりして、更なる思考を巡らすことに繋がります。知識の定着に留まらず、「思考」を広げる学習が今、大変重要視されています。そして更に、もっと調べてみよう、次の課題を見つけてみよう、自分の生活に活かしてみようと主体的な学習ができる児童生徒の育成を目指します。そのために小中共に事前学習をしっかりと行っています。事前学習ではJTBの杉田さんにもオンラインで、講師として児童生徒の訪問地の歴史や文化などを教えていただいています。

修学旅行は、まさに今、学校が目指す主体的、対話的で深い学びの実現に繋がっていきやすい教育活動だと考えています。

また、中学部は、歴史的な史実に基づく平和学習を進めています。今回の訪問する場所が、第二次世界大戦での戦地であると共に、各国の領有が代わることを繰り返した歴史的背景をもっていることも平和学習を進めるには大変興味深い訪問地となっています。建物を見て、博物館での説明を聞いて、自ら調べた仮説や更なる発展的な学習の糸口を探りながら、一人一人が「平和」について考えてほしいと思います。





【中学部修学旅行説明会】

中学部は生徒会が中心になって修学旅行の説明会を行いました。

持ち物のことや、行程のことなどを説明しながら、自分たちの行動で気を付けることを確認しました。お菓子のこと、土産代のこと、部屋の過ごし方のことなどを生徒会の役員が中心になって説明していました。ここはという時は、教員が入って説明会を行いました。

【町探検をする時の

ロシア語学習 3年】

学習に必要なロシア語を学習しています。学校・病院・薬屋・クリーニング屋など町にあるお店や建物の名前をロシア語で言えるようにしています。

住んでいる期間や家庭の環境によって大変上手に話せる子供もいますしこれからの子供もいます、子供は覚えるのが早いと感心しました。どの子も一生懸命ロシア語の学習をしています。



【生活科ミニトマトを

育てよう】

一人一鉢のミニトマトを育て始めました。葉の形や茎、小さな蕾も見付けて、丁寧に書いて色を付けていました。色もよく見て緑や黄緑をうまく塗り分けていました。

最後は水をあげて、日のあたる窓側に置きました。

立派なミニトマトができるといいですね。